



校訓： 進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

# 英田っ子

学校だより 2月号

平成29年2月1日

校長 藤井恒雄

## 仕上げが肝心

今日から暦は2月（如月）にかわりました。「如月（きさらぎ）」は、更に寒くなるという意味から「着更衣」が語源だといわれます。2月4日は立春とはいえ、まだまだ寒い日は続くと思われます。雨風や雪にもめげずに登校し元気にあいさつを交わす子どもたち、積もった雪の中でも運動場で歓声をあげて遊ぶ子どもたち。そんな元気な英田っ子がさらに成長するよう、しっかり支えていきたいと思っています。また、寒い中、登下校の安全を見守ってくださる皆様には心より感謝申し上げますとともに、事故・けがには十分ご留意くださいますようお願いいたします。



石川県ではインフルエンザ注意報が発令されています。本校では先月下旬より、インフルエンザによる欠席は全校で1日10～20人程度ですが、急激に増えることもあり油断はできません。引き続きご家庭でも風邪予防にご協力をお願いします。

さて、書き初め大会で始まった1月。様々な活動がありました。3年生は、地域の方から町の史跡や偉人の話を聞き、河合谷地区の「禁酒物語」の紙芝居も見ました。4年生は、冬のMISIAの森へ行き、新雪を楽しんだり動物の足跡を探したりしました。また昨日は、6年生が地域の高齢者の方々とのもちつきや会話を通して総合の勉強「生き方学習」を行いました。これからも地域や様々な方々の協力を得ながら、楽しく充実した学習を計画していきたいと考えています。校内では全校挙げてなわとび運動に励んでいます。中でも、1・2年生は多くの技ができるようになりました。今週からは、長なわとび（8の字とび）で回数を競っています。また、町の大会等に参加し、頑張っている子どもたちの一生懸命な姿も見ることができ、とても嬉しく思います。

2月は6年生を送る会やさよならふれあいタイムに向けて、学年やたてわりグループが動き出す時期です。そして、3月は卒業式です。「仕上げが肝心」という言葉があります。

「物事は最後の出来栄で値打ちが決まる」という意味です。6年生には卒業式まで限られた期間ですが、最後まで気を抜かずしっかりと小学校生活を送ってほしいと思います。その中で見せる6年生のかっこいい姿や美しい姿が、英田小学校の伝統として残っていきます。そのような姿が中学生への準備でもあります。他学年の子どもたちも、6年生と一緒に勉強したり、遊んだりしながら楽しい思い出をたくさん作ってほしいと思います。また、5年生は6年生を送る会の準備を通して最高学年としての心構えを学んでいます。5・6年生だけでなく、4年生や3年生、2年生そして1年生も学年が1つずつ上がることも今の成長を見て、とても楽しみです。まだまだ寒いですが草木はじっと寒さに耐え、少しずつ芽を出す準備をしながら春の訪れを待っています。子どもたちの心も、いっぱい栄養を蓄え、大きく膨らませ進級を待っているのではないのでしょうか。



今日の集会では、この「仕上げが肝心」の話をしました。今のいい姿を継続し、有意義な学年末にしていきたいと思っています。